

2026/6 vol.1
情報教育班

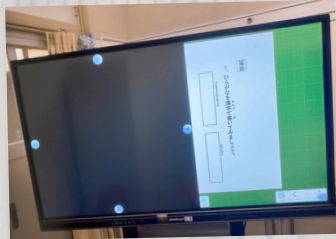
hodogaya-special-education-school ICTだより

ICTだよりでは保土ヶ谷支援学校でのICT機器を活用した授業や活用できるアプリの紹介、情報モラル等について保護者の皆様にお伝えしていきます。

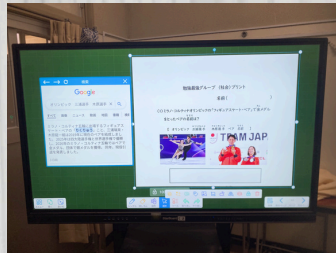
～電子黒板研修を行いました～

昨年度の12月より、本校高等部の全教室、小・中学部の一部教室や特別教室に電子黒板が配備されました。初めて電子黒板に触れる教員も多い中で、5月に初任者を対象とした研修を行い、具体的に授業の中でどのように電子黒板を活用できるか学びました。

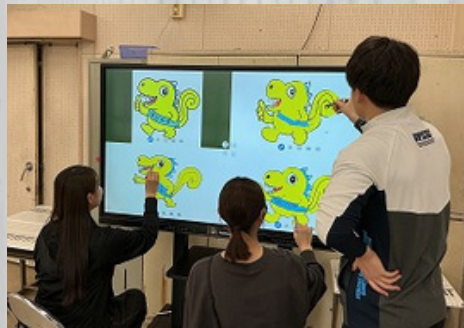
①ブラインド機能・・・画面を上下左右から隠すことができます。問題を1問ずつ提示できるので情報量を制限でき、視線を集中させることができます。



②web検索機能・・・調べ学習の際など、ワークシートを表示したまま検索画面を隣に並べて表示することができ、資料を見比べながら学習を進めることができます。

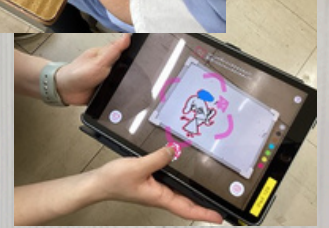


③画面分割機能・・・画面を分割し、それぞれの場所で複数人が同時に絵や文字を書き込むことができます。児童生徒が一斉に活動にする際や、複数人の回答や考えを同時に表示したい時に有効です。



ICT活用実践01 小学部

小学部では「らくがきAR」というアプリを使用しています。ホワイトボード(紙やタブレットでもOKです)に描いたイラストをタブレット端末のカメラで読み取るだけで、AR(拡張現実)として飛び出し、画面の中を動き回るというアプリです。児童はAR空間で動き回るキャラクターを連続してタップしてりんごなどの餌をあげたり、描いた絵を複数読み取って動かしたりして楽しんでいます。



ICT活用実践02 高等部

高等部では、家庭の授業で「今後の授業に向けて」のアンケートをGoogleフォームで作成し、生徒がタブレット端末で回答する活動を行いました。また、各自で「今日の天気」を調べ、天候に合わせた衣服をコーディネートして撮影・画面共有し、全体で振り返ることも実施しました。ICTを活用することで、意見を瞬時にまとめることができ、視覚的な情報共有もスムーズに実現しました。



ICT活用実践03 舞岡分教室

舞岡分教室では、現場実習に入る前に「実習壮行会」を行い、実習に向かう生徒をみんな応援しています。壮行会では、それぞれが自分の実習先について、作業種や目標を簡潔にまとめ、プレゼンテーション形式で発表します。発表にあたっては、決まったフォーマットに必要事項を記入し、プレゼン資料として仕上げています。

【実習目標】

1. 周りに気づかひをしながら作業する
2. 時間を意識して作業準備を早くする
3. 話を聞く時に視線を相手に向けるようにする

